

2019年度(令和元年度)「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

〈学校用〉

校番(59)番 福山市立日吉台小 学校

1 育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)

育成する21世紀型“スキル&倫理観”	課題発見・解決力	論理的思考力	コミュニケーション能力	実践力(高い奉仕の精神)
めざす子ども像(21 世紀型“スキル&倫理観”を身に付けた児童生徒の姿)	自ら問いを見つけ、見通しを持って調べたり、考えたりしながら、解決することができる。	因果関係を整理し、筋道を立てたり、根拠を明確にしたりしながら考えることができる。	多様な考えを受け入れながら、自分の考えを伝えることができる。	自分の役割を自覚し、役に立つ喜びを感じながら行動することができる。

2 授業の現状

- ・ペア学習・グループ学習を授業に位置付けているクラスは82%と増えているが、形式的になりがちで深まりがない。
- ・単元計画に、学力を定着させるための時間を位置付けたり、モジュールタイムで活用する力を育む内容を取り入れたりしている。

3 めざす授業の姿

- ・子どもの問いが生まれる授業
- ・子どもが必然性のある課題を設定し、解決方法を自分で選択しようとする授業
- ・思考用語や学習用語を適切に使いながら、対話をする授業
- ・子どもが、「面白い」「もっとやりたい」「できた」「わかった」と実感する授業



4 めざす授業に向けた取組の具体

4月からの取組	8月末の状況	9月からの取組	12月末の状況	1月からの取組	2月末の状況
①必然性のあるペア学習、グループ学習を仕組む。 ・問いやつぶやきを広げていく。 ・つぶやきからの広がりを研究授業の視点にする。 ②単元の中に、児童が学び方や解決方法を自分で決める場面を設定する。 ③思考用語や学習用語を適切に使う。	授業者の振り返り結果 ①必然性のあるペア学習、グループ学習を仕組む。(56%) ②単元の中に、児童が学び方や解決方法を自分で決める場面を設定する。(62%) ③思考用語や学習用語を適切に使う。(70%)	①児童の問いやつぶやきに視点をあてた授業研究を行う。 ②児童が、「あれ?」「なぜ?」と思うような課題提示の仕方を工夫する。 ③単元の中に、児童が自分のペースで問題に取り組む時間を確保する。			

5 取組の結果等

数値は2019年(令和元年)調査等の状況

全国学力・学習状況調査(%) 〈児童生徒質問紙調査〉(%) (肯定的評価)

国語	67 (+1)	自分にはよいところがある	87.5 (+3.1)
算数	70 (+2)	先生はよいところを認めてくれる	93.8 (+5.7)
		将来の夢や目標を持っている	79.7 (-7.1)
		人の役に立つ人間になりたい	98.5 (+2.5)

()は県平均との差

「基礎・基本」定着状況調査 〈児童生徒質問紙調査〉(%) (肯定的評価)

学校へ行くのは楽しい	90.3 (+2.5)
「やりなさい」と言われなくても、自分から進んで勉強をしている	80.7 (+1.1)
授業では、課題について、「なぜだろう」「やってみよう」と思う	74.2 (-6.5)
授業では、友だちと話し合うなどし、考えを深めたり広げたりしている	83.8 (+4.4)

暴力行為発生率・不登校児童出現率 (%) (8)月末現在

暴力行為	0.6	不登校	0.9
------	-----	-----	-----

体力づくり改善計画【広島県体力・運動能力調査から】 2018年度の結果

県平均以上項目数	前回目標値に対する結果	重点課題	改善する取組内容・方法
(男子) 34 / 48	○全体の達成率69.4%だった。 概ね達成することができた。	○昨年度広島県平均以上かつ一昨年全国平均と比較すると、握力・50m走・20mシャトルランの3点が課題である。	①握力はサーキット運動 ②50m走は測定の方の研修、ゲストティーチャーによる走り方教室 ③20mシャトルランは測定の方の研修、ペースメーカーをつける
(女子) 32 / 48			
目標値	・全体の県平均かつ全国平均以上の達成率を70%以上にする。 ・総合評価のDE率を10%、C率を30%、AB率を55~60%を目指し底上げを図る。		

福山100NEN教育アンケート[対象:授業者](%)

質問項目	当てはまる	当てはまらない
仕事にやりがいを感じている	31.3	0.0
仕事に充実感がある	25.0	0.0

6段階回答の上位2段階・下位2段階

児童生徒アンケート(%) (9)月実施

質問項目	当てはまる	当てはまらない
授業で考えることが面白い	84.4	15.7
自分の考えは、認められている	79.8	20.3

4段階回答の上位2段階・下位2段階